

情報科学会誌創刊号添付 CD-ROM 内容紹介

稲永 健太郎

本会誌に添付されている CD-ROM には、下記の内容物が含まれています。なお、閲覧に必要なソフトウェア等、本 CD-ROM に関する詳細については、CD-ROM 内 index.html をご覧ください。

- 情報科学会誌 (原文を PDF 形式のファイルに変換、カラー対応、総計約 128MB)
- 情報科学部設備等に関するアンケートの結果 (PDF 形式、約 30KB)
- 情報科学部関連紹介動画 (VTR 画像を MPEG 形式のファイルに変換)
 - 情報科学部紹介動画 (約 147MB、2001 年 6 月に製作された情報科学部紹介ビデオを取り込み)
 - 九州産業大学紹介動画 (約 137MB、2002 年 6 月に製作された九州産業大学紹介ビデオを取り込み)

編集後記

7 月に編集委員長を仰せつかった。多くの人に教えてもらいながら、他の 3 人の編集委員とともに全体のイメージを何とか作り、執筆依頼をしたのが 10 月。11 月に原稿をもらう予定がなかなかうまくいかず、ずるずると延びてしまったが、ようやく創刊号発行に漕ぎ着けた。初めての経験で、「とにかく創刊号を出すこと」を目標に、内容その他ほとんどを走りながら考えたため、大変だった。また、費用を削るために、原稿は執筆者から電子データでもらい、廣田先生にレイアウトをお願いした。まさに手作りの学会誌である。プロの手によるものに比べれば見劣りがするだろうが、ご容赦願いたい。初代編集長の任期は 1 年ということで、これにてお役ご免。内容および web や CD-ROM との連携の充実は次期の編集委員長と編集委員に期待したい。なお、次号からは発行時期を早め、前年度の活動報告も掲載する計画である。読者の皆様には長い目で暖かく見守って頂ければ幸いです。(一ノ瀬)

\LaTeX や \TeX と闘いました。これまでもいろいろな場面で \LaTeX を使ってきましたが、基本的には他人の作ったマクロを使用するだけでした。今回は必要なマクロをどこから探し出してくるとか、他人の作ったマクロをあてずっぽうで切り貼りしたり、といったことをやりました。特に目次については、ひとつのマクロで対応できるはずのものを、それぞれ別のマクロにしました。いつか \TeX の達人が現れてきれいに整理してくれることを期待しています。デジカメの画像を切り出して EPS へ変換するのにも、「デジカメの達人」、「Microsoft ペイント」、「GSview」と 3 つものソフトを駆使しました。一つで何でもできる便利なソフトはないものかしらと思います。お金を出せばあるのでしょうか。(廣田)

学部の紹介記事やアンケートに関する記事などを担当しました。2002 年は情報科学部が開設され、初めての経験ばかりの 1 年でした。特に学会誌の編集委員をするのは生まれて初めてのことで、他の編集委員の方々に教えて頂きながら手探りで進んできた気がします。今回の経験を今後活かしていけるようにしていきたいと思えます。(澤田)

初めて経験する編集委員として、何から手を付ければよいのかわからず、委員長をはじめ他の委員の方々のご指導のもと、作業をしてきた感があります。ほとんど役に立たず申し訳ありませんでした。この貴重な経験を次の機会に生かしたいと思えます。本当にありがとうございました。(稲永)